





プールの大きさは、7×15メートルの4コースでした。小学生を対象と していたため、深さは1メートル20センチ程度でした。利用料金は無料 で、誰でも利用できました。更衣室やシャワー、ロッカーなども完備され ていました。

プールができた当初、新居浜市街にはまだプールはほとんど無かった そうです。

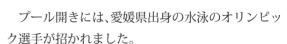


プール下のトンネルからプラットホーム側(現在のマイン工房) を見た様子 昭和43年(1968) 原 茂夫氏撮影

プールの下には電車の通る、小さなトンネル(通称:小マンプ)が ありました。プールが開設される前は、展望台として活躍していま した。池もつくられ、コイが泳いでいました。

現在は再び展望台として生まれ変わり、新居浜市内はもとより、 お天気が良ければ、遠く瀬戸内海まで見渡すこともできます。

展望台から新居浜市をの眺めた様子



現在のプール跡

プールは

山の学校でしたが、プールのおかげでほとんどの 人が泳げたそうです。

学校からプールまで徒歩で片道15分程度でした。 プールの水は喜三谷から谷川の水を引いたので、か なり冷たかったそうです。

また、高い位置にあったため防火用水としての役 割も果たしていました。



